

令和 5 年度第 14 回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和 6 年 2 月 6 日（火） 18 時 30 分 ～ 19 時 30 分
場所	川上ふれあいセンター
テーマ	地域コミュニティの活性化について
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ○ 篠崎市長 ○ 川上地区代表者（9 名） 川上地区自治会連合会会長、川上地区文化振興会会長、川上地区婦人部連絡協議会会長、川上地区社会福祉協議会会長、川上地区コミュニティ推進協議会顧問、川上地区コミュニティ推進協議会会長、川上地区子ども会育成連絡協議会会長、川上地区シニアクラブ連合会会長、宇部市環境衛生連合会川上支部支部長 ○ 川上ふれあいセンター、市民環境部、総合政策部、広報広聴課
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域コミュニティは人材が不足している。若い世代に地域の魅力を発信し、みんなに親しまれる地域コミュニティを作りたい。川上地区は土砂災害が多いので、防災面での取組に力を入れたいと考えている。（川上地区自治会連合会会長） ○ 地域コミュニティの運営が厳しくなっており、いずれ地域コミュニティが崩壊するのではないかと危惧している。そのような中、地域コミュニティの会計管理に市の職員は関与できないとの市の方針が示された。各団体の中には、経理や各種書類作成をすることが難しい団体もある。（川上地区社会福祉協議会会長） →地域防災力を高めるためには、自助、共助、公助が重要。共助、公助をしっかり結びつけなければならない。地域と行政が協働して取り組みたい。地域コミュニティの会計管理については、今年度、全 24 地区の状況を調査し、適正な会計処理を地域と共有すべきと判断した。会計管理は各団体が行うのが原則だが、会計の定期的な確認や会計資料等の作成に対する支援は、館長が対応可能と考えている。会計年度任用職員と地域雇用職員の業務を見直し、地域雇用職員に過度の負担がかからないようにしたい。（市長） ○ 20 年以上前になるが、川上ふれあいセンターの近くの民有地に、公共工事の残土を利用してコミュニティ広場を作る計画と、川上ふれあいセンターからひらき台への道路の拡幅工事の計画があったが、一部の地権者の反対で実施されなかった。（川上地区コミュニティ推進協議会顧問） →コミュニティ広場と道路拡幅工事の件について、当時の状況を確認する。（市長） ○ 老人クラブへ新規に入会する人が少ない。会員の平均年齢が 80 歳を超え、役員の新たな引き受け手もない。今の高齢者は 70 歳まで働き、また、考え方も多様化しているが、高齢者に老人クラブのことを知ってもらい、会員を増やしていきたい。（川上地区シニアクラブ連合会会長） →高齢者数自体は増えている。今の高齢者は健康で元気な方が多く、老人クラブに入会せずに気の合う仲間と楽しむ方が多い傾向があるように感じる。今後は、老人クラブという組織にこだわらず、高齢者福祉サービスとどう結びつけていくのかを考える必要がある。（市長） ○ 子ども会や PTA が形骸化している。他市では様々な取組の結果、PTA が活性化した事例もあると聞いている。自分でも情報収集に努めているが、そのような情報があれ

	<p>ば、市からも情報提供して欲しい。(川上地区子ども会育成連絡協議会会長)</p> <p>→情報提供はしっかり行っていきたい。子ども会や PTA を含む地域コミュニティが活性化すると、子どもの不登校やいじめが少なくなるというデータもある。子どもを含めた3世代交流のイベントを増やし、子どもを通じて地域コミュニティを活性化させる取組をしている地区もある。(市長)</p> <p>○ 地域で開催したイベントにおいて、業者がプロパンガスを運搬してくれず、プロパンガスが使えないので困っている。(川上地区婦人部連絡協議会会長)</p> <p>→地域のイベントでプロパンガスが使えるように市として支援できることがないか確認し、検討したい。(市長)</p>
課題等	<p>○ コミュニティ広場を作る計画について、当時の状況を確認する。</p> <p>○ 川上ふれあいセンターからひらき台への道路の拡幅工事の計画について、当時の状況を確認する。</p> <p>○ 地域イベントでのプロパンガス使用について、市として支援できることがないか検討する。</p>